各常任委員会は、下記の分野の問題・課題について議論しています。
◎総務・産業常任委員会…総務、税務、産業、商工観光、建設、上下水道
◎社会・文教常任委員会…町民、保健福祉、教育、消防

総務・産業常任委員会

財政シミュレーションについて

様似町財政プランとしては令和2年から令和6年までの5年間の一般会計を対象にしたものです。

プラン目標として①予算規模の縮小、②職員数の削減、③基金残高の下限目標の設定、④地方債残高の減少の4点を目標としており職員数に関しては現在の105人から段階的に令和6年度まで94人まで削減すること、財政調整基金の保有額は市町村においては標準財政規模の10%から20%が望ましいことから平成30年度標準財政規模の26億9，680万円の10%である2億6，900万円を保有下限目標としていますが現時点での算定方法で今後必要となる大型の投資的事業を推計に含めない試算でも令和6年度には財調残高は1億7，920万円と下限目標を割り込む状況になり令和11年度にはマイナスの5，500万円すなわち財政調整基金が底をつく状態になります。

ふるさと納税について

前年度の平成30年度の北海道におけるふるさと納税の中で様似町の受入れ金額の順位は69位で町としてもポータルサイトを2件増やすことになっています。

様似町及び日高振興局管内の課税状況について

委員からの提案案件で各町平成27年から令和元年の5年間の人口構成比の推移を比較してみると様似町の年少人口は令和元年385人、生産年齢人口2，187人、老年人口1，727人と構成比はそれぞれ9・0%、50・9%、40・2%となっており様似町は年少人口が少なく老年人口が多くまた人口の減少率はマイナス8・4%となっておりえりものマイナス8・5%に次いで僅差でありますが二番目に多くなっていました。また、所得状況の推移は総所得金額と分離課税分の合計を総人口で割返し一人当たりの所得を見ると日高管内でこの5年間ではほぼ最低で推移していました。このことは生産年齢人口が少ないことも起因しますが町民の所得向上につながる手立て、生活の底上げに結びつく産業支援のあり方を検討する必要性が確認されたところです。

汚水対策の洗管作業について

5月25日23時から26日5時の間に西区域として本町・西様似駅前・鵜苫沢地区の洗管作業実施の状況説明を受けています。今後の予定として7月中旬に西区2回目、8月下旬に東区1回目を予定しているとのことです。

国道街路灯修繕及び幌満自然公園の管理状況について

国道拡幅部分の街路灯で様似町管理の不点灯17灯について補正を組み早急に対応することになり開発局管理の不点灯28灯については今年の予算が取れていないとのことでしたが当初の改修ではなく様似町の方法でやるよう検討することになりました。また大通地区の街路灯についても老朽化が進んでおり今後の対応について町としても検討が必要とされました。幌満の自然公園については整備が完了しています。

＝審議した案件名＝

5月8日（金曜日）
◎総務産業常任委員会の道外視察研修について

5月19日（火曜日）
◎財政シミュレーションについて
◎新型コロナウイルス感染症の影響に対する産業支援について
◎ふるさと納税について

6月9日（火曜日）
◎防災計画における地震・津波災害対応及び避難所の3つの密対策について
◎新型コロナウイルス対策感染症対応地方創生臨時交付金事業について
◎固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
◎職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部のを改正する条例の制定について
◎派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
◎様似町地域応援券「アポイクーポン（仮称）」について
◎様似町地域おこし協力隊経費補助交付要綱の制定について
◎様似町税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について
◎様似町税条例の一部を改正する条例の制定について
◎様似町及び日高振興局管内の課税状況について
◎産業課所管の補正予算について
◎濁水対策の洗管作業について
◎西様似駅前配水管新設工事について
◎平宇団地建替工事（3号棟）請負契約の締結について
◎大通第一団地長寿命化改修工事（H10年建設棟）請負契約の締結について
◎国道街路灯修繕及び幌満自然公園の管理状況について

以上、20件について審議。

社会・文教常任委員会

令和元年度国民健康保険特別会計決算について

歳入合計が約7億4，738万240円、歳出合計が6億5，542万3，958円となります。

内容は歳出のうち主なもので、総務費については事務的経費であり、総額で2，855万623円となっています。次に保険給付費については、総額で4億4，404万2，267円。前年比、約マイナス3・5％となっています。昨年度に対して被保険者数は平均マイナス3・9％となっており、給付費全体も減少傾向ではあるが、被保険者数の割合ほど医療費は減少せず、一人当たりの医療費はかえって増加しているような状況とのこと。

歳入のうち主なもので、国民健康保険税、総額1億5，190万4，800円。前年比で約マイナス1・4％となっています。次に道支出金の保険給付費等交付金は全体で4億7，364万1，795円。一般会計からの繰入金は4，246万9，414円との説明。

単年度の黒字額は1，080万円程度となっており、今回、道への納付金が減った事や、補助金に係る返納金がなかったため、単年度黒字となっていますが、昨年度は約51万円の単年度赤字、一昨年度も762万円の赤字でありますので、全体を通して財政状況のレベルは一定の水準を保っているものと考えているとの説明でした。

老人福祉バスの運行について

現在老人福祉バスは、月6回、月曜と木曜に様似町老人クラブ連合会が主体となり、ＪＲバスと老人福祉バスを運行しています。ＪＲバスは、鵡苫～旭までを運行し、老人福祉バスはＪＲバスが運行できない西様似、岡田、田代、朝日丘を運行し、運賃として一律往復300円を徴収。70歳以上の町民には年間48回の無料入浴券を交付していますが、ＪＲバスは、一般乗合旅客自動車運送事業者であるので、料金を徴収することに問題はないのですが、町が所有している白ナンバーの車・バスが料金を徴することについて、3月議会で質問があり、これを踏まえ、7月より運行方法を変更することとなりました。

アポイ山荘以西、西様似、岡田、田代方面からの利用者は、一度様似駅でＪＲバスに乗り換え、アポイ山荘まで移動し、帰りはアポイ山荘を利用したサービスとして、従来通り福祉バスによって送ります。一方、旭、幌満方面の方々は、ＪＲの路線バスを利用し、帰りは従来通り老人福祉バスで送ります。一般の路線バスに乗車するため運賃は規程どおりの支払いとなり、300円を超えた金額は老人クラブ連合会から払い戻しとなります。運行は6月周知期間とし、7月実施予定との説明がありました。

これに対し委員2名から、「福祉バスとは言えない」「これが住民サービスと言えるのか」「不公平感がある」等の意見が出されました。

GIGAスクール構想について

昨年12月下旬に文部科学省より通知があり、全国一斉に取り組むこととなった、学校のＩＣＴ情報通信技術による環境整備のための構想。これに関し、小中学校の高速な校内ＬＡＮの整備に係る部分と児童生徒一人一台端末の整備に係る部分があり、2月の社会文教委員会の中で、ＧＩＧＡスクールの概要について説明しましたが、新型コロナウイルスの関係で、文部科学省の考え方も大きく変更となっている部分もあり、全国的にも混乱しながら進めている状況とのことでした。

今年度当初予算で計上していなかった、児童・生徒一人一台端末の整備に係る予算を6月議会の補正予算で計上したいとの説明がありました。

＝審議した案件名＝

6月10日（水曜日）

◎新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について

◎様似町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について

◎様似町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

◎令和元年度国民健康保険事業特別会計決算について

◎介護保険料の減免について

◎様似町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◎様似町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◎ＧＩＧＡスクール構想に関する取り組みについて

◎様似町地域おこし協力隊起業経費補助金交付要綱の制定について

◎老人福祉バスの運行について

以上、10件について審議。